

新米おいしく食べて

NGT48、新発田の園児に届ける



コメのクイズなどで園児と交流するNGT48のメンバー＝新発田市豊町4

県内を拠点に活動するアイドルグループNGT48のメンバー4人が、新発田市上羽津の田んぼで収穫した新米を市内のこども園に届けた。

グループが2021年から続ける農業プロジェクトの一環。清司麗菜さん(24)、西潟茉莉奈さん(30)、杉本萌さん(20)、北澤百音さん(17)の4人が11日、一緒に田植え体験などをした「あいこども園」(豊町4)を訪れ、収穫した新米計8キロを園児に手渡した。

メンバーはコメに関するクイズを出したり、NGT48の楽曲を披露したりして、園児と交流した。田んぼを所有する「越後新鮮組」のスタッフも参加した。

清司さんは「子どもたちの笑顔にパワーをもらった。給食でたくさん食べてほしい」と話した。

◆詐欺や交通事故に注意呼びかけ 犯罪や交通事故の防止を呼びかける「安心安全むらかみフェスタ」が村上市の市教育情報センター

トピック

詐欺や交通事故に注意呼びかけ 犯罪や交通事故の防止を呼びかける「安心安全むらかみフェスタ」が村上市の市教育情報センター



1で開かれた「写真」。市民ら約70人が参加し、特殊詐欺の手法を再現した寸劇などが披露された。

村上署などが10月に開いた。アイドルグループ「R YU T i s t」元メンバーの横山実郁さんが一日署長として参加。振り込み詐欺の寸劇では、署員が警察官に成り済ました犯人と被害者のやりとりを演じ、電話を留守番設定にするなどの防止策をアドバイスした。

参加者は、会場を暗くし、夜間に車のライトで照らされた人物の見え方を体感。明るい色の服の方が目立つことや反射材着用の効果を実感していた。自転車運転のルール紹介もあった。

横山さんは「誰もが特殊詐欺の被害者になり得る。学んだことを家族や身近な

人に教えてほしい」と呼びかけた。



地域と共に備え確認

胎内市黒川の黒川小学校で、地域と合同の防災訓練が行われた。写真。地震が発生したとの想定で、児童と住民、近隣のきまぎこども園の園児ら計約280人が体育館に素早く避難した。

合同訓練は、地域住民らによる学校運営協議会委員が主催し今秋に行われた。胎内市の気象防災アドバイザー、岩崎利勝さんによる水害への備えを学ぶ講座もあり、胎内市も被害を受けた1967年の羽越水害について、写真や動画で説明があった。参加者は、過去

の災害を学び、備えの大切さを実感していた。

5年の居城(いじろ) 幹汰さん(11)は「羽越水害はすごい被害だと思う。災害時に命を守るため、日ごろから準備したい」と話した。



◆農福連携で仕込んだみそ贈呈 障害のある人たちの就労支援と、農を通じた地域おこしに取り組みむ、みそ製造販売「渋谷商店」(聖籠町東港7)が、社会福祉法人「のぞみの家福祉会」(新発田市)に仕込んだみそを贈った。写真。

両者は2022年から敬和学園大学の趙晤術教授が取り組む農福連携活動に参加。新発田市上三光の耕作放棄地で大豆を育て、大豆

の商品を開発してきた。

3月からは、収穫した大豆で渋谷商店が仕込んだみそを、のぞみの家福祉会が運営する就労支援施設「夢ある小路」で袋詰めし、施設内の売店などで販売している。

贈呈式は、活動に参加する団体間の交流を深めようと趙教授が企画し、10月に渋谷商店で行われた。渋谷商店社長の渋谷信夫さん(82)は「皆さんが育ててくれた貴重な大豆がおいしいみそになりました」と、施設利用者にみそ90キロを手渡した。受け取った60代の女性性は「たくさん売れてほしい」と話した。

解説。1年生約30人は二ツト製品に実際に触れ、製品が販売されるまでの

が学べた。五泉の二ツトをたくさんの人に知ってほしいと意気込んでいる。

三条市西校で、災害

災害起きたらどう動く？

十士で承